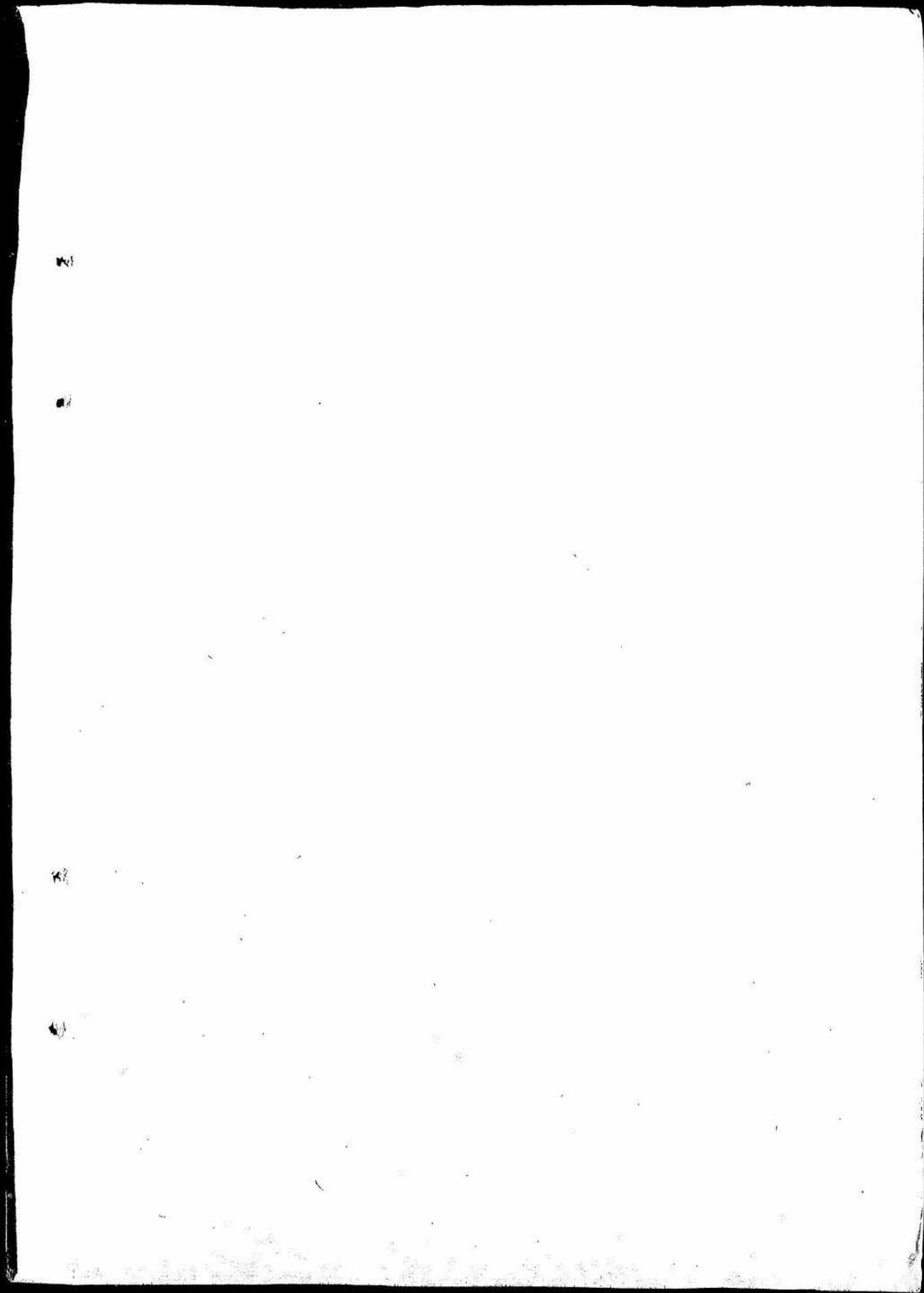


昭和十六年

滿支  
外地  
渡航  
取締  
例規



国立公文書館	
分類	③④
排架番号	3 A
	15
	44-1



44-1  
6

滿支  
外  
地  
渡  
航  
取  
締  
例  
規

238928

31731

国立公文書館	
分類	
配架番号	44-1

# 外 事 例 規 總 目 錄

8	7	6	5	4	3	2	1
旅券 移 民	國籍諸報告其 他雜	滿支 外地 渡航取 締	防  諜	外國人勞働取 締	視 察 取 締	外國人入國取 締其 旅券、國籍證 明書 查証、入國提 示金	外國人入國取 締其 省令與保
外國人旅行等 關スル臨時措 置令	國籍、他系統 官廳トノ交涉、 諸報告通報 履行、移動警 察、指紋、雜 件	渡支、渡滿、 渡鮮、其ノ他 外地渡航取締 所持金制限、 予防注射、種 痘			外國人處遇及 取締、在留禁 止者、業內業 者、船舶、武 器攜帶上陸、 外事關係衛生 刑事警察	旅券、國籍證 明書、旅券國 籍證明書ニ代 ルヘキ證明書、 查証、入國提 示金	入國、滞在、 退去

第一款 渡支

一 渡支邦人暫定處理ニ関スル件  
二 勞務調劑令ノ適用ヲ受クヘキ者ノ渡支取扱方ニ関スル件

昭和一九二八年  
警保甲字第七二号  
警保局長

昭和一九二八年  
例規外務部第一〇四号  
警保局長

六 海南島渡航ニ関スル件

内地經由渡温支ノ台湾籍民ノ取扱

昭和一九二四年  
米三級密令第三五二四号  
亞米利加局長

昭和一九二五年  
外務部第六五七号  
警保局長

七 渡支邦人暫定處理ニ各方面ノ周知方ノ件

渡支計画樹立ニ際シ事前連絡方ノ件

昭和一九二八年  
米三級密令第三五八二号  
亞米利加局長

昭和一九二五年  
外務部第一九二七号  
警保局長

八 渡支計画樹立ニ際シ事前連絡方ノ件

福州方面ノ渡航制限方ノ件

昭和一九二八年  
米三級密令第三五八二号  
亞米利加局長

昭和一九二五年  
外務部第一九二七号  
警保局長

一 新作戦地並新聞發地向渡支者ニ對スル  
二 渡支事由證明書ニ関スル件  
三 支那赴任セシムヘキ学校職員ノ渡支證明書發給ニ関スル件

昭和一九二七年  
警保甲字第五九号  
文那事務局長

昭和一九二七年  
外務部第八九二二号  
警保局長

大阪府

第二款

渡 滿

一 國境取締法令一括

1. 國境取締法

2. 令 施行規則

3. 令 施行細則

滿洲國特別地区旅行證明規則

令規則取扱方依命通牒

令規則改正 伴了取扱方、件

滿洲國特別地区内旅行官公吏、身分證明書、関件

康徳九、一〇、二〇  
勅令第一九九号

康徳九、一〇、二〇  
治安部令第三三号

康徳九、一〇、二〇  
治安部訓令第一五号

昭和一、四、一五  
内務省令第一〇号

昭和一、四、一五  
内務省令第一〇号

昭和一、八、一、二  
警保局長

昭和一、八、一、二  
警保局長

昭和一、八、一、二  
警保局長

大阪府

第三款

渡 解

一 國境取締法関係證明書

關スル件  
昭和十六年六月十四日  
警保四五十一号  
長

昭和十六年六月二十五日  
警保七五九号  
部長

大阪府警察部

大阪府

第四款

南洋

一 南洋群島渡航抑制ニ関スル件

昭和  
一  
文  
五  
三  
四  
九  
保  
局  
長

昭和  
一  
文  
五  
三  
八  
警  
察  
部  
長

大阪府

大阪府警察部



第五款

南方占领地

一 南方陸軍占领地已渡航者身許證明

凡件

二 全

三 全

外知一八  
警甲一五  
保五三  
局長

外知一八  
警甲一五  
保五三  
局長

外知一八  
警甲一五  
保五三  
局長

大阪府

大阪府警察部



第七册  
豫防注射、種痘

大阪府警察部

大阪府

第一款

渡支取締



三 昭和十五年五月二十二日 警保局外發甲第三五號

渡支身分證明書發給調ニ關スル件

三 昭和十五年五月二十七日 警保局外發甲第四一號

青少年雇入制限令ノ適用ヲ受クベキ者ノ渡支取締方ノ件

四 昭和十五年六月一日 警保局外發甲第四四號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

五 昭和十五年八月十三日 警保局外發甲第七二號

渡支事由證明書樣式改正方ニ關スル件

六 昭和十五年九月十六日 警保局外發甲第七九號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

七 昭和十五年十二月二十三日 警保局外發甲第一一五號

渡支邦人暫定處理ニ關スル證明書樣式ニ關スル件

渡支邦人暫定處理ニ關スル件 (昭和十五年五月七日閣議決定)

從來渡支者ニ對スル身分證明書ノ發給ニ關シテハ昭和十二年八月三十一日附米三機密合第三七七六號外務次官發各地方長官宛依命通牒「不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件」ニ依リ取扱ト主トシテ本人ノ素性、經歷、平素ノ行動等ニ徴シ渡支後不正行爲ヲ爲ス虞ナキヤ否ヤヲ考慮ノ上其ノ虞ナキ者ニ限り右證明書ヲ發給シツツアリシ處該制度實施以來客年十二月末迄ニ於ケル本邦人渡支者ノ延人員ハ五十九萬人ニ達スル狀態ナリ一方現地ニ於ケル圓系通貨(聯銀券、軍票等)ノ膨脹著シク之ガ價值維持ノ必要上極力是等圓系通貨ノ氾濫ヲ防止スルノ措置ヲ講ズルハ喫緊ノ要務ナル處此種通貨ノ氾濫ヲ防止スル手段ニ關シテハ各方面ニ涉リ夫々ノ見地ヨリ詳細ニ檢討考慮ヲ要スヘキコト勿論ナルモ上記ノ渡支者ニ於テモ夫々相當ノ邦貨ヲ携行シ現地ニ於テ圓系通貨ヲ放出スル次第ニテ其ノ額ハ一ケ年間概ネ一億圓ノ巨額ニ達スル實情ナルニモ鑑ミ此方面ヨリスル圓系通貨ノ膨脹ヲ防止スルコトモ亦極メテ緊要ナリ然ルニ是等個人又ハ團體ノ

中ニハ其ノ渡支ノ目的理由等ニ徴シ必ズシモ上述ノ如キ現地ノ切迫シタル實情ヲ無視シテ迄渡支セシムルノ必要ナキ者多々有之モノト認メラルルノミナラズ觀察、慰問等ニ藉口スル不要不急ノ旅行客亦尠カラザル現状ナルニ付テハ渡支身分證明書ノ發給ニ當リテハ獨リ警察上ノ取締ニ止マラズ現地ノ實情ト睨ミ合セ在支圓系通貨放出制限ノ見地ヨリ不必要ト認メラルル邦人ノ渡支ハ極力制限スルコト適切緊要ナリ。

仍テ今後ハ從來ニ於ケル不良分子ノ取締ノ外概ネ別紙ノ取扱方針ヲモ併セ實施シ不要不急ノ目的ニ出ツル支那渡航ヲ禁止シ以テ國策ノ緊急性ニ即應スルコトト致度

### 「別紙」

#### 取扱方針

一般ニ觀察ヲ目的トスル支那渡航ハ當分ノ間之ヲ禁止スルコトトシ其ノ他特ニ支那渡航ヲ要スルモノニ對シテハ左記ニ該當スル場合ニ

限り所轄警察署長ニ於テ身分證明書ヲ發給シ渡航セシムルモノトス  
外地ニ於テモ本方針ニ準シ措置スルモノトス  
本方針ハ支那現地ノ事態ノ許スニ到リタルトキハ速ニ之ヲ緩和スルモノトス

#### 記

- 一 慰問（演劇又ハ演藝ニ依ル慰問ヲ含ム）ノ爲渡支セントスル者（團體ヲ含ム）ニ就テハ豫メ陸海軍省ノ承認ヲ得タルモノ
- 二 家事情ノ爲一時渡支セントスル者ニ就テハ在支關係者ノ所轄領事館警察署ノ證明ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ
- 三 商取引ノ爲一時旅行セントスル者ニ就テハ在支關係會社、商店又ハ取引先ノ所轄領事館警察署ノ證明ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ
- 四 定住又ハ現地勤務ノ爲渡支セントスル者ニ就テハ行先地所轄領事館警察署ノ證明ヲ押捺セル文書ヲ有スルモノ又ハ在支陸海軍ノ發給シタル軍屬タルノ身分證明書（呼稱證明書ヲ含ム）ヲ有スルモノ

五其ノ他ノ者ニシテ眞ニ已ムヲ得ザル事情アリト認メラルルモノ

取扱要領



一、日本内地及外地ヨリ視察ヲ目的トスルモノニ非ズシテ特ニ支那渡航ヲ要スル一般邦人（朝鮮人、臺灣籍民ヲ含ム）ニ對シテハ左記ニ該當スル場合ニ限り居住地所轄警察署長ニ於テ第一號様式ノ渡支身分證明書ヲ發給ス

滿洲部在留者一時本邦ニ歸國シ支那ヲ經由歸滿セントスルトキ亦同ジ

(イ) 慰問ノ爲渡支セントスル者ハ陸軍關係ニ在リテハ聯隊區司令部又ハ師團司令部（慰問部）ヲ經由シ陸軍省偵兵部、海軍關係ニ在リテハ鎮守府、要港部又ハ地方海軍人專部ヲ經由シ海軍省軍務局第四課ニ各出願シ其ノ承認ヲ受ケ第二號様式ニ依ル證明書ヲ下附セラレタル者

(ロ) 近親者ノ葬儀及養護ニ已ムヲ得ザル場合及本邦在學中ノ支那在住者ノ子女養育依歸ヲ利用シ親許ニ赴ク者等家事用務ノ爲一時渡支セントスル者ニシテ在支關係者ノ所轄領事館警察署發



給ニ係ル第三號様式ニ依ル證明書ヲ所持スル者但シ支那在住者ノ妻子ニシテ本邦ニ居住スル者夫又ハ親屬ニ一時渡支セントスル者ハ緊急ノ場合ノ外之ヲ認メザルモノトス

(イ) 在支關係會社商店又ハ取引先トノ間ニ現實ニ商行為存在シ又ハ具体的ナル商業進出者ニシテ渡支セザレバ眞ニ處理シ難キ事情アル商取引ノ場合ニ於テ在支所轄領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スル者

但シ渡支後致領事館管轄地域ニ亙リ旅行セントスル者ハ其ノ一領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スルヲ以テ足ル

(ニ) 半永久的ニ支那ニ居住シ具體的計畫ト所屬ノ準備トヲ以テ一般實務ニ從事又ハ在支商社ニ勤務スル者及其ノ家族(内縁關係ニアル配偶者一家事使用人ヲ含ム)ニシテ行先地所轄領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スル者

(ホ) 現地軍ノ採用ニ係ル軍屬又ハ雇傭人ニシテ陸軍ニ在リテハ在支派遣高等司令部、憲兵隊及特務機關(海軍ニ在リテハ艦隊司令

昭和十七、七、二九  
 皇軍海外司令部第七二号  
 三ノ一改正ノ旨通牒

及軍顧問(蒙古軍及北支中支南支軍顧問ヲ謂フ以下之ニ同じ)

- 部、在勤武官、根據地隊司令部及特務部發給ニ係ル身分證明書ヲ所持スル者又ハ渡支後以上各軍關係ニ採用セララルル見込ノ者ニシテ當該軍發給ノ呼寄證明書ヲ所持スル者
- (ウ) 現地軍ニ配屬セララルル軍屬又ハ軍雇傭人ニシテ陸海軍省ニ於テ採用セラレ陸軍省ニ在リテハ第四號様式、海軍省ニ在リテハ第五號様式ニ依ル證明書ヲ發給セラレタル者
- (ハ) 現地勤務ノ軍屬又ハ軍雇傭人ノ家族呼寄ニヨリ渡支セントスル者ニシテ所屬部隊長發給ノ家族呼寄許可書ヲ所持スル者
- (ニ) 從軍僧、從軍神官、從軍記者、從軍畫家等ノ從軍者ニシテ陸海軍省ノ發給スル從軍免許證ヲ所持スル者
- (三) 家族ノ死亡、急病其ノ他之ニ準スベキ要急ノ際ニシテ所轄領事館警察署發給ノ證明書ノ下附ヲ受クル暇ナク眞ニ已ムヲ得ザル者

(又) 政治、經濟、文化的見地ヨリ事變處理ニ直接且積極的ニ關係アル者ニ就キ興亞院又ハ外務省ニ於テ關係官廳ト協議ノ上承認セ

ラレ興亞院ヨリハ第六號様式、外務省ヨリハ第七號様式ニ依ル  
證明書ヲ發給ヲ受ケタル者

(四)一時歸國中ノ在支邦人又ハ新規渡支者ニ與ヘラレタル在支帝國  
領事館發給ノ證明書ニ其ノ同伴者トシテ明記セラレタル者  
但シ婚姻ノ爲一時歸國シタル者ノ身分證明書ニ「婚姻ノ爲歸國  
スル」旨記載アリタルトキハ配偶者ノ氏名、年齢等ノ明記ア  
ルヲ要セズ

(五)本邦ニ於テ婦女(藝妓、酌婦、女給等)雇入ノ爲一時歸國シタ  
ル在支接客營業者ニ對シ與ヘラレタル在支帝國領事館警察署發  
給ノ證明書ニ雇入員數ヲ明記セル場合其ノ員數ニ相當スル被備

婦女  
勞務調整令ニ依ル雇入制限令ノ適用ヲ受クル者ニシテ雇備セラレテ渡支セン  
ニ青少年雇入制限令ノ適用ヲ受クル者ニシテ雇備セラレテ渡支セン  
トスル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給セントスル場合ニ於テハ前  
項ノ證明書ノ他ニ其ノ雇備者ニ與ヘラレタル第八號様式ニ依ル地  
方長官又ハ職業紹介所長發給ノ證明書ヲ必要トス

三、左記各號ニ該當スル渡支者ニ對シテハ警察署長渡支身分證明書ノ  
發給ヲ要セズ

(イ)公務ノ爲派遣セララルル官公吏(日系及招聘官公吏ヲ含ム)其ノ  
他ノ者及現地赴任ノ官吏ノ家族使用人ニシテ永住ノ目的ヲ以テ  
官吏ノ任地ニ赴ク場合派遣官廳(公吏ニ對シテハ廳府縣長官)  
ニ於テ發給セル第九號様式ニ依ル身分證明書ヲ所持スル者

(ロ)現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬ニシテ制服ヲ着用スル者  
(ハ)現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬制服以外ノ略服ヲ着用スル者ニ  
シテ陸軍ニ在リテハ第一〇號様式ニ依ル所屬隊長、海軍ニ在リ  
テハ第一一號様式ニ依ル所屬廳長ノ發給スル身分證明書ヲ所持  
スル者

(ニ)帝國政府發給ノ支那渡航旅券(臺灣籍民ニ對シ發給スル渡航證  
明書ヲ含ム)ヲ所持スル者

(ホ)正規渡航者ノ同伴者ニシテ十五才未満ノ者

(ヘ)一時歸國中ノ在支邦人ニシテ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所

昭和二十一年三月五日  
外務省令第一二九號

持スル者但シ一時歸國中ノ者再渡支前證明書ノ有効期間ヲ經過  
シタル者ヲ除ク

四 警察署長ハ渡支身分證明書發給ニ關シテハ手数料ヲ徵收セザルモ  
ノトス

五 警察署長渡支身分證明書下附ノ出願アリタルトキハ第一二號様式  
ニ依ル願書ヲ徵シ本人ノ身分、職業、渡航目的、期間、關係文書  
等ヲ調査シ左ノ通り取扱フベシ

(イ) 素性、経歴、平素ノ言動等不良ニシテ渡支後不正行爲ヲ爲スノ  
虞アル者ト對シテハ渡支身分證明書ヲ發給セザルコト

(ロ) 關係軍、官廳發給ニ係ル文書ヲ有スル者ニ關シ詐欺ノ方法ヲ以  
テ文書ノ交付ヲ受ケタル疑アリ又ハ身分關係ニ疑義アリ其ノ他  
特ニ阻止ヲ要スル場合ハ本省ニ稟議ノ上其ノ措置ヲ決スルコト

(ハ) 取扱要領一ノ(リ)ニ該當スル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給セン  
トスルトキハ之ヲ證スルニ足ル資料等ヲ慎重精査ノ上決スルコ  
ト

(ニ) 渡航ヲ阻止シタル場合ハ克ク渡航制限ノ趣旨ヲ徹底セシムルコト  
(ホ) 保釋中ノ者、刑ノ執行猶豫中ノ者、刑ノ執行停止中ノ者、假出  
獄中ノ者、其ノ他裁判(豫審又ハ公判)繼續中ニシテ身柄不拘  
束ノ者等渡支ヲ出願シタル場合ハ豫メ所轄檢事局ト打合ノ上許  
否ヲ決定スルコト

(イ) 關係軍、官廳ニ於テ發給シタル證明書及其ノ他參考書類ハ許否  
決定ト同時ニ返戻スルコト

(ロ) 陸海軍省ノ許付ヲ受ケタル從軍者及興亞院又ハ外務省ノ渡支承  
認書ノ下附ヲ受ケタル者ニ對シ渡支身分證明書ノ發給ヲ拒否シ  
タルトキハ速ニ其ノ理由ヲ附シ本省ニ報告スルコト

(ハ) 取扱要領二ニ依ル第八號様式證明書所持者ニ對シ身分證明書ノ  
發給ヲ拒否シタル場合ハ之ヲ發給シタル道府縣長官又ハ職業紹  
介所長ニ證明書ノ番號及氏名ヲ通報スルコト

(リ) 年令十二年以上三十年未満ノ男子及年令十二年以上二十年未満  
ノ女子渡支セントスル場合ハ一青少年雇入制限令一及同關係法

令ノ適用ノ有無ニ關シ調査ヲ爲スコト

(又)取扱要領一ノ(チ)ニ該當スル在支接客營業者ノ本邦ニ於テ雇入レタル婦女ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ各警察署毎ニ營業者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ其ノ發給セシ員數ヲ記入シ署印ヲ押捺スルコト

取扱要領一ノ(リ)但書ニ該當スル配偶者ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ婚姻ノ爲一時歸國シタル者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ配偶者ノ氏名、年令ヲ記載シ署印ヲ押捺スルコト

(ハ)十五才未滿ノ同伴者ハ之ヲ世帶主其ノ他ノ引卒者ノ渡支身分證明書ニ併記シ寫眞ハ之ヲ省略スルコト

(ニ)關係軍、官廳團體ニ對シ證明書ノ下附アリタルトキハ第一三號様式ニ依ル團體渡支身分證明書ヲ發給スルコト

(ワ)渡支身分證明書再下附ノ出願アリタル場合ハ幾ニ發給シタル警察署ニ願人ノ寫眞ヲ添附照會ノ上事實ニ相違ナキトキニ限り再

下附ヲ爲スコト

(カ)一時歸國中ノ在支邦人ニシテ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所持スル者再渡支前證明書ノ有効期間ヲ經過シタル爲證明ヲ出願シタルトキハ其ノ遅延ニ付正當ノ理由アル場合ニ限り居所又ハ出發港(航空機ノ出發地ヲ含ム)所轄警察署長ハ其ノ所持スル在支帝國領事館發給ノ證明書ニ奧書證明ヲ爲スコト

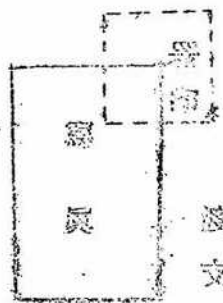
六 出發港又ハ航空機ノ出發地所轄警察署長ハ正規ノ手續ニ依ラズ又ハ一時歸國者ニシテ證明書ノ有効期間ヲ失シタル者ヲ發見シタルトキハ乗船又ハ塔乗ヲ阻止スルコト

證明書ノ發給手續ニ瑕疵アリト認メラルル場合ハ重大ナル支障ナキ限り之ヲ發給シタル關係方面ニ通報シ注意ヲ喚起スルニ止メ其ノ乗船又ハ塔乗ヲ阻止セザルコト

七 警察署長ノ發給セル渡支身分證明書ニ關シテハ第一四號様式ニ依リ毎月末日現在ヲ以テ調査シ翌月十日迄ニ本省ニ報告ノコト

第一編 格式

渡支身分證明書



本籍  
現住所  
職業

一、支郡へ渡流す必要トスル

目的  
理由  
期間

右證明ス

年 月 日

警察署長官 氏

名 剛

氏

生年月日

第二號樣式

渡直證第

號(又ハ〇〇第 號)

證明書

住所

職業

氏

名

右者

目的ヲ以テ昭和 年 月 日出發向

フ 日間ノ豫定ニテ 二旅行スルモノナルコトヲ證明ス

陸軍省 陸兵部 團

又ハ海軍省 副官 團

第三號樣式

渡支事由證明願

マ渡支セントスル本人

本籍

現住所

職業

氏

生年月日

マ保證人

本籍

現住所

職業

氏

生年月日

マ渡支ヲ必要トスル事由

右之通相違無之事ヲ御證明被下度及御願候也

第四號樣式

右（本人又ハ保證人）氏 名 團

在 領事館警察（分）署長殿

右 證 明 ス

年 月 日

在 領事館警察（分）署長氏 名 團

身 分 證 明 書

本 籍 地

氏

生 年 月 日 名

右者ハ何部隊軍屬ニ採用セラレ赴任ノ爲渡支スルモノナル  
コトヲ證明ス

昭 和 年 月 日

陸軍省軍務局軍務課長

團

第五號樣式

身分證明書

一、海南島ニ於テ現地三省會議ノ指令ニ基ク業務ニ從事スル  
爲渡航

右證明ス

昭和 年 月 日

海軍省軍務局長

印

備考

一、本證明ヲ興亞院ニ持參シ興亞院ノ證印ヲ押捺セル文書ノ下  
附テ受ケ願ニ所轄警察署長ノ身分證明書ノ發給ヲ受クルモ  
ノトス  
一、本證明書ハ必ズ海南島到着迄携行スルヲ要ス

第六號樣式

渡航承認書

本籍

現住所

職業

一、渡航用務

一、用務地

一、期間

右ノ者渡航申出ノ處必要ナリト認メ茲ニ承認スルモノナリ

昭和 年 月 日

興亞院 印



第七號様式

米三普通第 號

年 月 日

外務省 關

警察署長 殿

氏 名

生年月日

右者

爲支那 ( )

へ渡航スルニ付渡支身分證明書ヲ發給セラレタシ

第八號様式

指(定) 第 號

住 所

氏

名 生年月日

右ハ青少年雇入制限令ノ認可ヲ經タル左記ノ者ニ雇傭セララル者タルコトヲ證明ス

記

- 一 雇傭主ノ氏名
- 一 使用ノ場所ノ名稱及所在地

年 月 日

又ハ職業紹介所長 關  
道府縣知事 關

第九號様式

身、分 證 明 書

官職 氏

生 年 月 日

一、支那へ渡航ヲ必要トスル目的・用務

右 證 明 ス

年 月 日

(派遣官廳) 官職 氏

名

支 那 領 事 館 用 紙

第九號ノ二様式

身分證明書 (團體渡航)

引卒者

本籍

現住所

官職 (職業)

氏名

生年月日

外〇〇名 (別冊名簿通り)

右一行ハ公務上船舶受取ノ為昭和 年 月 日ヨリ  
約〇日間ノ予定ヲ以テ〇〇ノ渡航スルモノナルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

〇〇海運局長

派遣船員名簿

氏名	生年月日	官職名	本籍	現住所	船員手帳 交付地及番號	徽用番号

備考 頁毎ニ契印ス

第十號様式（陸軍省ノ分）

身分證明書

官氏

名  
年月日生

右ハ  
ノ爲渡支スルモノナリ

右證明ス

昭和  
年  
月  
日

所屬部隊長 氏  
名 剛

第十一號様式（海軍省ノ分）

身分證明書

官 氏

年 月 日 生

右ハ

ノ爲渡支スルモノナリ

右證明ス

昭和 年 月 日

廳長 氏

名 剛

第十二號様式

寫 眞

渡支身分證明書下附願

- 一 本 籍
  - 二 現住所
  - 三 職 業
  - 四 氏 名（及別名）
  - 五 兵役關係
  - 六 支那ニ渡航ヲ必要トスル目的理由
  - 七 渡航ノ經路及行先地
  - 八 期間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日
  - 九 關係軍官廳發給證明書
- 年 月 日 生



第十三號樣式

團體渡支證明書

署  
引率責任者



本籍  
現住所  
職業

氏

年 月 日生

番 號	住 本	籍 所	職 業	藝 又ハ別名	氏 名	年 令

右一行 名慰問ノ目的ヲ以テ(外務省又ハ興亞院ノ承認ニヨリ)昭  
和 月 日 向フ 日間ノ予定ニテ 二旅

一〇支那ニ居住セシ事實  
右之通り相違無之候條渡支身分證明書發給相成度此段及御  
願候也

昭和 年 月 日

右 氏 名 印

警察署長 殿

行スルモ、ナルニ付御證明被下度此段及願上候也

年 月 日

引率責任者

印

警察署長 殿

右 證 明 ス

年 月 日

警察署長 印

第十四圖様式

渡支身分證明書發給調月(分)月分

警 府 縣 名

種 別	地 方 別				計
	北 支	中 支	南 支	奥 支	
官公吏其他職務者					
軍屬及軍醫婦人					
慰問旅行者					
家專用物品					
商 取 引 者					
定住スル地籍所有者					
接交等從事務者					
取換證領ノソコニ該スル者					
計					

備考

(1) 「官公吏其ノ他ノ者」中日係官吏又ハ招聘官吏ハ同欄左側ニ朱書スルコト

(2) 「軍屬及軍雇傭人」欄ニハ渡支後軍屬又ハ雇傭人トシテ採用ノ見込ヲ以テ現地軍務給ニ係ル身分證明書ヲ所持シテ渡支スルモノヲ掲記シ現役若ハ召集中ノ軍人軍屬ハ之ヲ含マザルコト

(3) 「家事用務者」中取扱要領一ノ(四)該當者ハ同欄左側ニ朱書スルコト

(4) 「支那ニ於ケル地方別左ノ如シ

北支	河北	察哈爾	綏遠	山東	山西
中支	江蘇	浙江	安徽	湖南	湖北
	陝西	江西	福建	四川	河南
南支	廣東	廣西	貴州	雲南	
奧支	青海	西藏	新疆	寧夏	甘肅
					西康



例規

經過 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~

第一〇四〇號 八月廿八日午後 八月廿八日午後 時行 寫淨 多田 合校 多田

昭和丁亥年八月廿七日起案 時受 八月廿八日午後 完結 冊第 號

警察部長 外事課長 部 長 名

各警署 警察署長宛

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

邦人ノ渡支ニ関シテハ 昭和十五年五月七日閣議決定

一渡支邦人暫定處理ニ關スル件一及今年五月十五日附

外秘第七八五號令件通達ニ基キ極力不良若クハ



漫然渡支者ノ取締ヲ強化スルト共ニ他面圓系通貨  
ノ放出防止ニ努メツクアリタル處其ノ後教次ニ亘リ追加  
或ハ補訂ヲ加ヘラレタル為内容が著シク複雑多岐トナリ  
取扱上甚シナル不便ヲ與ヘツ、アルノ実情ニ鑑ミ今般  
之等ヲ整理統合シ新タニ「取扱要領」ヲ制定シ  
タルニ付テハ爾今渡支邦人ノ取扱ニ就テハ別紙商議決  
定ニ成ル「渡支邦人暫定處理ニ關スル件」ニ依據スルノ

外新「取扱要領」ニ<sup>基</sup>キ<sub>ニ</sub>處理シ 取扱上此ニハ過誤  
ナキヲ期セラルベシ

追テ左記各通牒ハ爾今廃止スルニ付ヤ整理セラル  
ベシ

昭和十五年五月十五日 外秘第 七八五 號  
渡支邦人暫定處理ニ關スル件

昭和十五年五月二十日 外秘第 九三二 號  
渡支身分証明書發給調ニ關スル件

昭和十五年六月四日 外秘第九八九號

青少年雇入制限令適用受多者ノ渡支取締方針

昭和十五年六月四日 外秘第九九〇號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

昭和十五年八月二十四日 外秘第二四七八號

渡支事由証明書様式改正件

昭和十五年九月二十日 外秘第一六六五號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

昭和十六年一月十八日 外秘第三三三號

渡支邦人暫定處理ニ關スル件

了



渡支邦入暫定處理ニ關スル件 (昭和十五年五月七日閣議決定)

從來渡支者ニ對スル身分證明書ノ發給ニ關シテハ昭和十二年八月三十日附米三機密合第三七七六號外務次官發各地方長官宛依命通牒「不良分子ノ渡支取締方ニ關スル件」ニ依リ取扱ヒ主トシテ本人ノ素性、經歷、平素ノ行動等ニ徴シ渡支後不正行爲ヲ爲ス虞ナキヤ否ヤヲ考慮ノ上其ノ虞ナキ者ニ限リ右證明書ヲ發給シツ、アリシ處該制度實施以來客年十二月末迄ニ於ケル本邦入渡支者ノ延人員ハ五十九萬人ニ達スル狀態ナリ一方現地ニ於ケル圓系通貨(聯銀券、軍票等)ノ膨脹著シク之ガ價值維持ノ必要上極力是等圓系通貨ノ氾濫ヲ防止スルノ措置ヲ講ズルハ喫緊ノ要務ナル處此種通貨ノ氾濫ヲ防止スル手段ニ關シテハ各方面ニ涉リ夫々ノ見地ヨリ詳細ニ檢討考慮ヲ要スヘキコト勿論ナルモ上記ノ渡支者ニ於テモ夫々相當ノ邦貨ヲ携行シ現地ニ於テ圓系通貨ヲ放出スル次第ニテ其ノ額ハ一ケ年間概ネ一億圓ノ巨額ニ達スル實情ナルニモ鑑ミ此方面ヨリスル圓系通貨ノ膨脹ヲ防止スルコトモ亦極メテ緊要ナリ然ルニ是等個人又ハ團體ノ中ニハ其ノ渡支ノ目的理由等ニ

徴シ必ズシモ上述ノ如キ現地ノ切迫シタル實情ヲ無視シテ迄渡支セシムルノ必要ナキ者多々有之モノト認メラルルノミナラズ視察、慰問等ニ藉口スル不要不急ノ旅行客亦尠カラザル現状ナルニ付テハ渡支身分證明書ノ發給ニ當リテハ獨リ實察上ノ取締ニ止マラズ現地ノ實情ト賤ミ合セ在支圓系通貨放出制限ノ見地ヨリ不必要ト認メラルル邦人ノ渡支ハ極力制限スルコト適切緊要ナリ

仍テ今後ハ從來ニ於ケル不良分子ノ取締ノ外概ネ別紙ノ取扱方針ヲモ併セ實施シ不要不急ノ目的ニ出ツル支那渡航ヲ禁止シ以テ國策ノ緊急性ニ即應スルコトト致度

「別紙」

### 取扱方針

一般ニ視察ヲ目的トスル支那渡航ハ當分ノ間之ヲ禁止スルコトトシ其ノ他特ニ支那渡航ヲ要スルモノニ對シテハ左記ニ該當スル場合ニ限り所轄警察署長ニ於テ身分證明書ヲ發給シ渡航セシムルモノトス、外地

ニ於テモ本方針ニ準シ措置スルモノトス  
本方針ハ支那現地ノ事態ノ許スニ到リタルトキハ速ニ之ヲ緩和スルモノトス

### 記

- 一 慰問（演劇又ハ演藝ニ依ル慰問ヲ含ム）ノ爲渡支セントスル者（團體ヲ含ム）ニ就テハ豫メ陸海軍省ノ承認ヲ得タルモノ
  - 二 家事用務ノ爲一時渡支セントスル者ニ就テハ在支關係者ノ所轄領事館警察署ノ證明書ヲ有スルモノ
  - 三 商取引ノ爲一時旅行セントスル者ニ就テハ在支關係會社、商店又ハ取引先ノ所轄領事館警察署ノ證明書ヲ有スルモノ
  - 四 定任又ハ現地勤務ノ爲渡支セントスル者ニ就テハ行先地所轄領事館警察署ノ證明書ヲ有スルモノ又ハ在支陸海軍ノ發給シタル軍屬タルノ身分證明書（呼稱證明書ヲ含ム）ヲ有スルモノ
- 其ノ他ノ者ニシテ眞ニ已ムヲ得ザル事情アリト認メラルルモノ

取 扱 要 領

一 日本内地及外地ヨリ視察ヲ目的トスルモノヲ除キ特ニ支那渡航ヲ要スル一般邦人（朝鮮人、臺灣籍民ヲ含ム）ニ對シテハ左記ニ該管ニル場合ニ限り居住地所轄警察署長ニ於テ第一號様式ノ渡支身分證明書ヲ發給ス

滿洲國在留者一時本邦ニ歸國シ支那ヲ經由歸滿セントスルトキ亦同ジ

(イ) 慰問ノ爲渡支セントスル者ハ陸軍關係ニ在リテハ聯隊區司令部又ハ師團司令部（經理部）ヲ經由シ陸軍省糧兵部、海軍關係ニ在リテハ鎮守府、要港部又ハ地方海軍人事部ヲ經由シ海軍省軍務局第四課ニ各出願シ其ノ承認ヲ受ケ第二號様式ニ依ル證明書ヲ下附セラレタル者

(ロ) 近親者ノ葬儀及養護看護等眞ニ已ムヲ得ザル場合及本邦在學中ノ支那在住者ノ子女暑中休暇ヲ利用シ親許ニ赴ク者等家事用務ノ爲

一時渡支セントスル者ニシテ在支關係者ノ所轄領事館警察署發給ニ係ル第三號様式ニ依ル證明書ヲ所持スル者但シ支那在住者ノ妻子ニシテ本邦ニ居住スル者夫又ハ親許ニ一時渡支セントスル者ハ緊急ノ場合ノ外之ヲ認メザルモノトス

(ハ) 在支關係會社商店又ハ取引先トノ間ニ現實ニ商行為存在シ又ハ具體的ナル商業進出者ニシテ渡支セザレバ眞ニ處理シ難キ事情アル商取引ノ場合ニ於テ在支所轄領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スル者

但シ渡支後數領事館管轄地域ニ亘リ旅行セントスル者ハ其ノ一領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スルヲ以テ足ル

(ニ) 半永久的ニ支那ニ居住シ具體的計畫ト所要ノ準備トヲ以テ一般實務ニ從事又ハ在支商社ニ勤務スル者及其ノ家族(内縁關係ニアル配偶者、家事使用人ヲ含ム)ニシテ行先地所轄領事館警察署發給ノ證明書ヲ所持スル者

(ホ) 現地軍ノ採用ニ係ル軍屬又ハ雇傭人ニシテ陸軍ニ在リテハ在支派

即ち八五  
外務省ハ五一  
ニヨリ發給

及軍顧問(蒙古軍及北支、中支、南支)軍顧問ヲ謂フ以下之同也

遺高等司令部、憲兵隊及特務機關、海軍ニ在リテハ艦隊司令部、在勤武官、根據地隊司令部及特務部發給ニ係ル身分證明書ヲ所持スル者又ハ渡支後以上各軍關係ニ採用セララル見込ノ者ニシテ當該軍發給ノ呼寄證明書ヲ所持スル者

(ウ) 現地軍ニ配屬セララル軍屬又ハ軍雇傭人ニシテ陸海軍省ニ於テ採用セラレ陸軍省ニ在リテハ第四號様式、海軍省ニ在リテハ第五號様式ニ依ル證明書ヲ發給セラレタル者

(ロ) 現地勤務ノ軍屬又ハ軍雇傭人ノ家族呼寄ニヨリ渡支セントスル者ニシテ所屬部隊長發給ノ家族呼寄許可書ヲ所持スル者

(リ) 從軍僧、從軍神官、從軍記者、從軍藝術家等ノ從軍者ニシテ陸海軍省ノ發給スル從軍免許證ヲ所持スル者

(リ) 家族ノ死亡、急病其ノ他之ニ準スベキ要急ノ際ニシテ所轄領事館警察署發給ノ證明書ノ下附ヲ受クル暇ナク眞ニ已ムヲ得ザル者

(ヌ) 政治、經濟、文化的見地ヨリ重要處理ニ直接且積極的ニ關係アル者ニ就キ興亞院又ハ外務省ニ於テ關係官廳ト協議ノ上承認セラレ

興亞院ヨリハ第六號様式、外務省ヨリハ第七號様式ニ依ル證明書ノ發給ヲ受ケタル者

(四) 一時歸國中ノ在支邦人又ハ新規渡支者ニ與ヘラレタル在支帝國領事館發給ノ證明書ニ其ノ同伴者トシテ明記セラレタル者  
但シ婚姻ノ爲一時歸國シタル者ノ身分證明書ニ「婚姻ノ爲歸國スル」旨ノ記載アリタルトキハ配偶者ノ氏名、年齢等ノ明記アルヲ要セス

(ヲ) 本邦ニ於テ婦女(藝妓、酌婦、女給等)雇入ノ爲一時歸國シタル在支接客營業者ニ對シ與ヘラレタル在支帝國領事館警察署發給ノ證明書ニ雇入員數ヲ明記セル場合其ノ員數ニ相當スル被傭婦女ニ青少年雇入制限令ノ適用ヲ受クル者ニシテ雇傭セラレテ渡支セントスル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給セントスル場合ニ於テハ前項ノ證明書ノ他ニ其ノ雇傭者ニ與ヘラレタル第八號様式ニ依ル地方長官又ハ職業紹介所長發給ノ證明書ヲ必要トス

三、左記各號ニ該當スル渡支者ニ對シテハ警察署長渡支身分證明書ノ發給ヲ要セス

給ヲ要セス

- (イ) 公務ノ爲派遣セララルル官公吏(日系及招聘官公吏ヲ含ム)其ノ他ノ者及現地赴任ノ官吏ノ家族使用人ニシテ永住ノ目的ヲ以テ官吏ノ任地ニ赴ク場合派遣官廳(公吏ニ對シテハ廳府縣長官)ニ於テ發給セル第九號様式ニ依ル身分證明書ヲ所持スル者
- (ロ) 現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬ニシテ制服ヲ着用スル者
- (ハ) 現役又ハ召集中ノ帝國軍人軍屬制服以外ノ略服ヲ着用スル者ニシテ陸軍ニ在リテハ第一〇號様式ニ依ル所屬隊長、海軍ニ在リテハ第一一號様式ニ依ル所屬隊長ノ發給スル身分證明書ヲ所持スル者
- (ニ) 帝國政府發給ノ支那渡航旅券(臺灣籍民ニ對シ發給スル渡航證明書ヲ含ム)ヲ所持スル者
- (ホ) 正規渡航者ノ同伴者ニシテ十五才未満ノ者
- (ヘ) 一時歸國中ノ在支邦人ニシテ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所持スル者但シ一時歸國中ノ者再渡支前證明書ノ有効期間ヲ經過シタル者ヲ除ク



四 警察署長ハ渡支身分證明書發給ニ關シテハ手数料ヲ徵收セザルモノトス

五 警察署長渡支身分證明書下附ノ出願アリタルトキハ第一二號様式ニ依ル願書ヲ徵シ本人ノ身分、職業、渡航目的、期間、關係文書等ヲ調査シ左ノ通り取扱フベシ

(イ) 素性、經歷、平素ノ言動等不良ニシテ渡支後不正行爲ヲ爲スノ虞アル者若クハ不用不急ノ目的ニ出ズル漫然渡支者ニ對シテハ渡支身分證明書ヲ發給セザルコト

(ロ) 關係軍、官廳發給ニ係ル文書ニシテ詐欺ノ方法ヲ以テ交付ヲ受ケタル疑アリ又ハ身分關係ニ疑義アリ其他特ニ阻止ヲ要スル場合ハ警察部長ニ稟議ノ上其ノ措置ヲ決スルコト

(ハ) 取扱要領一ノ(ウ)ニ該當スル者ニ對シ渡支身分證明書ヲ發給セントスルトキハ之ヲ證スルニ足ル資料等ヲ慎重精査ノ上決スルコト  
(ニ) 渡航ヲ阻止シタル場合ハ克ク渡航制限ノ趣旨ヲ徹底セシムルコト  
(ホ) 保釋中ノ者、刑ノ執行猶豫中ノ者、刑ノ執行停止中ノ者、假出獄

中ノ者、其ノ他裁判ハ豫審又ハ公判ニ繫續中ニシテ身柄不拘束ノ者等渡支ヲ出願シタル場合ハ警察部長ニ稟議ノ上許否ヲ決定スルコト

(ハ) 關係軍、官廳ニ於テ發給シタル證明書及其ノ他參考書類ハ許否決定ト同時ニ返戻スルコト

(ト) 陸海軍省ノ許可ヲ受ケタル從軍者及與亞院又ハ外務省ノ渡支承認書ノ下附ヲ受ケタル者ニ對シ渡支身分證明書ノ發給ヲ拒否セントスルトキハ速ニ其ノ理由ヲ附シ警察部長ニ稟議スルコト

(チ) 取扱要領二ニ依ル第八號様式證明書所持者ニ對シ身分證明書ノ發給ヲ拒否シタル場合ハ速カニ理由ヲ附シ警察部長ニ報告スルコト  
(リ) 年齢十二年以上三十年未満ノ男子及年齢十二年以上二十年未満ノ女子渡支ヲ出願シタル場合ハ「青少年雇入制限令」及同關係法令ノ適用ノ有無ニ關シ十分調査ヲ爲スコト

(ヌ) 取扱要領一ノ(ヲ)ニ該當スル在支接客營業者ノ本邦ニ於テ雇入レタル婦女ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ各警察署毎ニ

營業者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ其ノ發給セシ員取扱要領一ノ(四)但書ニ該當スル配偶者ニ對シ渡支身分證明書ヲ與ヘントスル場合ハ婚姻ノ爲一時歸國シタル者ノ所持スル在支領事館警察署發給ノ證明書ニ配偶者ノ氏名、年齢ヲ記載シ署印ヲ押捺スルコト

(四)十五才未滿ノ同伴者ハ之ヲ世帯主其ノ他ノ引率者ノ渡支身分證明書ニ併記シ寫眞ハ之ヲ省略スルコト

(五)團體引率者ヨリ軍關係ノ證明書ヲ所持シ渡支ヲ出願シタルトキハ第一三號様式ニ依ル團體渡支身分證明書ヲ發給スルコト

(六)遺失紛失等ノタメ渡支身分證明書再下附ノ出願アリタル場合ハ疊ニ發給シタル警察署ニ願人ノ寫眞ヲ添附照會ノ上事實相違ナキトキニ限り再下附ヲ爲スコト

(七)一時歸國中ノ在支邦人ニシテ在支帝國領事館發給ノ證明書ヲ所持スル者再渡支前證明書ノ有効期間ヲ經過シタル爲期間延長ヲ出願

シタルトキハ其ノ遲延ニ付正當ノ理由アル場合ニ限り居所又ハ出發港(航空機ノ出發地ヲ含ム)所轄警察署長ハ其ノ所持スル在支帝國領事館發給ノ證明書ニ與證證明ヲ爲スコト

六 出發港又ハ航空機ノ出發地所轄警察署長ハ正規ノ手續ニ依ラズ又ハ一時歸國者ニシテ證明書ノ有効期間ヲ失シタル者ヲ發見シタルトキハ乘船又ハ搭乗ヲ阻止スルコト

證明書ノ發給手續ニ瑕疵アリト認めラルル場合ハ重大ナル支障ナキ限り之ヲ發給シタル關係方面ニ通報シ注意ヲ喚起スルニ止メ其ノ乘船又ハ搭乗ヲ阻止セザルコト

七 警察署長ノ發給セル渡支身分證明書ニ關シテハ第一四號様式ニ依リ毎月末日現在ヲ以テ調査シ翌月五日迄ニ警察部長ニ報告ノコト

第一號樣式

渡支身分證明書

署印

寫真

本籍  
現住  
職業

一、支那へ渡航ヲ必要トスル

目的  
理由  
期間

右證明ス

年月日

氏

姓名  
生年月日

警察署長官 氏 名 印

第二號様式

渡血證第 號(又ハ〇〇第 號)

證明書

住所

職業

氏

名

右者

ノ目的ヲ以テ昭和 年 月 日出発向フ

間ハ予定ニテ

ニ旅行スルモノナルコトヲ證明ス

陸軍省恤兵部 印

又ハ海軍省副官 印

第三號様式

渡支事由證明願

一、渡支セントスル本人

本籍

現住所

職業

氏

名  
生年月日

一保證人

本籍

現住所

職業

氏

名  
生年月日



一、渡支ヲ必要トスル事由

右之通相違無之事ヲ御證明被下度及御願候也

右(本人又ハ保證人) 氏 名 印

在 領事館警察(分)署長 殿

右證明ス

年 月 日

在 領事館警察(分)署長 氏 名 印

第四號様式

身分證明書

本籍地

氏 名

生年月日

右者ハ何部隊軍屬ニ採用セラレ赴任ノ爲渡支スルモノナルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

陸軍省軍務局軍務課長

印



第五號様式

身分證明書

一 海南島ニ於テ現世三省會議ノ指令ニ基ク業務ニ従事スル爲渡航

右證明ス

昭和 年 月 日

海軍省軍務局長

印

備考

- 一 本證明書ヲ興亜院ニ持参シ興亜院ノ證印ヲ押捺セル文書ノ下附ヲ受ケ更ニ所轄警察署長ノ身分證明書ノ発給ヲ受ケルモノトス
- 一 本證明書ハ必ズ海南島到着迄携行スルヲ要ス

第六號様式

渡航承認書

本籍

現住所

職業

一 渡航用務

一 用務地

一 期 間

右ノ者渡航申出ノ処必要ナリト認め茲ニ承認スルモノナリ

昭和 年 月 日

興 亜 院

印



第七號様式

米三普通第 號

年 月 日

外務省



警察署長殿

氏

名

生年月日

右者

爲支那( )

へ渡航スルニ付渡支身分證明書ヲ發給セラレタシ

第八號様式

指(定)第 號

住 所

氏

名

生年月日

右ハ青少年雇入制限令ノ認可ヲ經タル左記ノ者ニ雇傭  
セララル者タルコトヲ證明ス

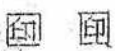
記

一雇傭主ノ氏名

一使用ノ場所ノ名稱及所在地

年 月 日

道 府 縣 知 事  
又ハ 職業紹介所 長



第九號様式

身分證明書

官職 氏

生年月日 名

一 支那へ渡航ヲ必要トスル目的、用務

右證明ス

年 月 日

(派遣官廳) 官職 氏 名 印

第十號様式(陸軍省ノ分)

身分證明書

官 氏 名

生年月日

右ハ / 爲渡支スルモノナリ

右證明ス

昭和 年 月 日

所属部隊長 氏 名 印



第十一號樣式（海軍省ノ分）

身分證明書

官 氏

名

生年月日

右ハ

ノ爲渡支ヌルモノナリ

右證明ス

昭和 年 月 日

廳長 氏

名

印

第十二號樣式

寫 眞

渡支身分證明書下附類

一、本 籍

二、現住所

三、職 業

四、氏 名（及別名）

五、

六、兵役關係

七、支那ニ渡航ヲ必要トスル目的理由

八、渡航ノ経路及行先地

九、期 間 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日

十、關係軍自廳發給證明書

十一、支那ニ居住セシ事實

年 月 日 生

右之通り相違無之候條渡支身分證明書発給相成度此段及御  
願候也

昭和 年 月 日

右 氏 名 印

警察署長 殿

第十三號様式

團體渡支證明願

引率責任者

署印  
眞眞  
本籍  
現住所  
職業

氏 名  
年月日生

番 號	住 本	籍 所	職 業	藝 又 ハ 別 名	氏 名	年 令

右一行 名慰問ノ目的ヲ以テ(外務省又ハ興亞院ノ承認ニヨリ)昭

和 年 月 日ヨリ向フ 日間ノ予定ニテ 二旅

行スルモノナルニ付御證明被下度此段及願上候也

年 月 日

引率責任者

警察署長殿

右證明ス

年 月 日

警察署長

印

印

第十四號様式

渡支身分證明書發給調 ( 月分 )

警察署名

種別	地方別				計
	北支	中支	南支	興支	
官公吏其ノ他ノ者					
軍屬及軍雇傭人					
慰問旅行者					
家事用務者					
商取引者					
定住又ハ現地勤務者					
接客營業従業婦女					
取扱要領ノ下ニ該當スル者					
計					

備考

- (1) 「官公吏其ノ他ノ者」中日系官吏又ハ招聘官吏ハ同欄左側ニ朱書スルコト  
 (2) 「軍屬及軍雇傭人」欄ニハ渡支後軍屬又ハ雇傭人トシテ採用ノ見込  
 ヲ以テ現地軍資給ニ係ル身分證明書ヲ所持シテ渡支スルモノヲ掲  
 記シ現役若ハ召集中ノ軍人軍屬ハ之ヲ含マサルコト  
 (3) 「家事用務者」中取扱要領一ノ(1)該当者ハ同欄左側ニ朱書スルコト  
 (4) 支那ニ於ケル地方別左ノ如シ

北支	河北	察哈爾	綏遠	山東	山西
中支	江蘇	浙江	安徽	湖南	湖北
	陝西	江西	福建	四川	河南
南支	廣東	廣西	貴州	雲南	
奧支	青海	西藏	新疆	寧夏	甘肅
					西康

經過 月 日 ~ 月 日  
 第一四六號 二月廿五日午前  
 昭和三十七年一月三十日起案  
 時受 二月廿五日午後  
 時行 寫淨  
 完結 冊第 號  
 合校

外事課長

部長

名

管下各警察署長宛

勞務調整令ノ適用ヲ受クヘキ者ノ渡支取扱方

ニ関スル件

勞務調整令ノ適用ヲ受クヘキ者渡支身分證明書ノ發給ヲ出願  
 アリタルトキハ昭和十六年八月二十日附例規外秘第 一〇四〇 號渡支  
 那人暫定處理ニ関スル件ニ依ルノ外概ネ左記ニ依リ取扱ヒ萬  
 遺漏無キヲ期セラルヘシ

記

大反

一、巡察署長勞務調整令施行規則第ニ條（技術技能又ハ學識經驗アル者ノ雇傭ニ関スル認可申請手續）同第六條第一項ノ第ニ號（國民學校修了者雇傭ニ関スル除外規定）同第七條及第八條（技能者及國民學校修了者ニアラサル一般青壯年雇傭ニ関スル認可申請手續）ノ規定ニ依リ國民職業指導所長ノ雇傭認可ヲ受ケタル者本令施行地外タル支那ニ於テ就働セシメントスル場合ハ雇傭主ハ所定在支諸機關發給ニ係ル證明書ノ外國職業指導所長發給ノ證明書（別紙雛形）ヲ添付セシムルコト。

二、巡察署長ハ前號ノ證明書ヲ受ケタル者ニ對シ渡支負令證明書ノ發給ヲ拒否シタル場合ハ證明書ヲ發給シタル國民職業指導所長ニ其旨通報スルコト。



裏面白紙

第 號

住 所

氏 名

年 月 日生

右ハ勞務調整令ニ依ル認可ヲ得タル左記ノ者ニ雇傭セラ  
ル、者タルコトヲ證明ス

記

一 雇傭主ノ氏名

ニ 使用ノ場所ノ名稱及所在地

年 月 日

國民職業指導所長

外埠課 庶務係 殿

職第二五〇號

昭和十七年一月二十九日

大阪府 學務部長

國民職業指導所長 殿

勞務調整令ノ適用ヲ受クベキ返支邦人ノ暫定處理ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ之ガ取扱方ニ付厚生省ヨリ未ダ通牒ニ接セザルモ從來ノ青少年雇入制限令ノ趣旨ニ則リ左記ニ依リ取扱ヒ致度キニ付御了知ノ上所轄警察署長ト連絡ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度

追而本件ニ關シテハ警察部長ヨリ各警察署長宛廻牒可有之ニ付爲念

記

一 國民職業指導所長ハ規則第三條、第六條第一項第五號、第七條、第八條第一項ノ規定ニ依リ認可シタル雇傭主ヨリノ申請ニ基キ同規則施行地外ニ於テ使用セラル、者タルコトヲ證スベキ別紙雜形ノ證明書ヲ交



付スルコト

尚令第十一條第三項所定ノ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テ後ノ使用ノ場  
所方同令施行地外ナル場合ニ於テモ右ニ準ジ取扱フモノトス

ニ警察若長ニ於テハ前號證明書ノ交付ヲ受ケ居ル者ニ付從來ノ趣旨ニ依  
リ身分證明書ヲ發給スルコト若シ此ノ身分證明書ヲ發給シ得ザルモノ  
アルトキハ前號ニ依リ證明書ヲ交付シタル國民職業指導所長ニ其旨通  
報スルコト

第 號

住 所

氏 名

年 月 日生

右ハ勞務調整令ニ依ル認可ヲ得タル左記ノ者ニ雇傭セラ  
ル、者タルコトヲ證明ス

記

- 一、雇傭主ノ氏名
- 二、使用ノ場所ノ名稱及所在地

年 月 日

國民職業指導所長

備考

- 一、本證明書ノ番號ハ一認可毎ニ通番號トシ雇入認可員數ヲ超エテ交付セザルコト
- 二、醫察者ニ於テ身分證明書ノ發給ヲ拒否セラレタル者ノ其ノ他渡航ヲ取止メタル者ニ付テハ本證明書ヲ返還セシムル條交付ノ際注意スルコト

7

米三機密合第三四八二號

昭和十四年七月七日

外事課長



大府知事

池田清

要迎報

外務省亞米利加局長

吉澤

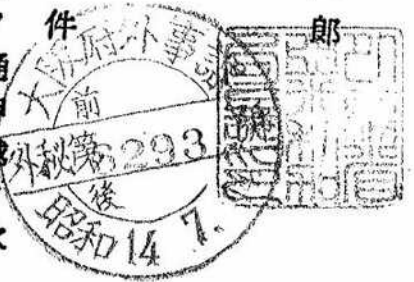
清次郎

内地經由渡滿支ノ臺灣籍民取扱ニ關スル件

本件ニ關シ今般森岡臺灣總督府總務長官ヨリ別紙寫ノ通申越ノ次第有之タルニ付委細右ニテ御了悉ノ上本件ノ趣旨徹底方可然御配慮相成度此段申進ス

本信送付先 警視總監、各地方長官、關東州廳長官

本信寫送付先 拓務次官



外務省

裏面白紙

官外第三五〇號

昭和十四年七月一日

臺灣總督府總務長官 森岡二郎

外務次官 澤田廉三殿

内地經由渡滿支ノ臺灣籍民取扱ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本年四月二十日附米三機密第一二一號ヲ以テ御通報ノ趣了承本島人ニシテ一旦内地又ハ本島以外ノ外地ニ渡航シ一定期間滞在若クハ居住ノ上渡支渡滿スル場合ノ取扱ニ付テハ客年九月本府府令第一一八號制定以來本府ニ於テモ考究中ナリシ處右府令制定ノ趣旨ニモ鑑ミ爾今此ノ種本島人ノ渡支渡滿スルモノニ對シテハ昭和十二年八月三十一日附米三機密第三七七六號不良分子ノ渡支取締ニ依ル支那渡航取扱手續ニ準シ本人居住地所轄警察署長發給ノ身分證明書ヲ携帶セシムルコトトシ尙所轄警察署長ニ於テ右下付願書ヲ

受理シタル場合ハ臺灣人ニ對スル旅券下付ノ場合ト同様本人ノ身許  
等一應其ノ本籍地所轄州廳ハ照會シ其ノ差支無キ者タルコトヲ確メ  
タル上之ヲ下付スルコトトシ以テ取締ノ完全ヲ期シ度候ニ付テハ右  
可然御配意相煩度此段得貴意候也

めくれず

甲回議書

過經 月 日 ~ 月 日 月 日 ~ 月 日

第一九三號 七月十七日午前 時受 七月十七日午前 時行 簿寫 係合 校

昭和四年七月十七日起案 完結 冊編 冊第 號

警察部長



課長



部長 名

部下各課長署長宛

内地經由渡船支ノ台湾籍民取扱三箇事件

標記ノ件ニ関シ今般外務省亞米利加局長ヨリ通  
譯ニ依リハ台湾籍民ニ多ク一旦内地第一帯在者ニクハ居  
住スル上渡支渡船スルニハ固シク人昭如十二年八月三  
十日附米三機密第三七七号ノ不良分子ノ渡支取扱

二依儿支那渡航取扱平続ニ準ニ本人居住地所  
職警察署署長簽給ノ身分証明書ヲ携帶セシム  
儿下ニ渡ルル下階ニ際シ本人ノ身分証明書  
檢査ニ照会其ノ必要トセシムル事ニ付別紙  
通牒書ニ照シ上列ノ事項ニ依テ渡航時期セシムル事

大 陸 局

官外第三五〇號

昭和十四年七月一日

寫

臺灣總督府總務長官 森岡二郎

外務次官 澤田廉三殿

内地經由渡滿支ノ臺灣籍民取扱ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ本年四月二十日附米三機密第一號ヲ以テ御通報ノ趣了承本島人ニシテ一旦内地又ハ本島以外ノ外地ニ渡航シ一定期間滞在若クハ居住ノ上渡支渡滿スル場合ノ取扱ニ付テハ客年九月本府府令第一一八號制定以來本府ニ於テモ考究中アリシ處右府令制定ノ趣旨ニモ鑑ミ爾今此ノ種本島人ノ渡

内 2

支渡滿スルモノニ對シテハ昭和十二年八月三十一日附米三機密第一三三七六號不良分子ノ渡支取締ニ依ル支那渡航取扱手續ニ準シ本人居住地所轄警察署長發給ノ身分證明書ヲ携帶セシムルコト、シ 尚所轄警察署署長ニ於テ右下付願書ヲ受理シタル場合ハ台湾人ニ對スル旅券下付ノ場合ト同様本人ノ身許等一應其ノ本籍地所轄州廳ハ照會シ其ノ差支無キ者タルコトヲ確メタル上之ヲ下付スルコト、シ以テ取締ノ完全ヲ期シ度候ニ付テハ右可然御配意相煩度此段得貴意候也。

(3)



親

經過 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~

第五一七號 月 日 午前 時受 月 日 午前 時行 寫淨 月 日 號

昭和十五年五月十日起案

完結 冊編第 號



警察部長名

總務部長

學務部長

經濟部長

土木部長

宛

渡支邦人指定處理二周スレ件

首題一件二周スレ件本月七日別添ノ如ク閣議ノ決定ヲ

大反寄

見 来レレニ十日ヨリ実施 セラレルエトト相成リタルケ更ニ今日  
 附警保局外費甲第三一様ノヲ以テ別紙ノ如ク並  
 保局長ヨリ通牒ノ次第ニ有之タルガ本件ハ現地  
 ノ情勢ニ鑑ミ新ノ支那建設上極メテ緊要且ツ緊急  
 ノ要スル問題ト思存セラレルヲ以テ官公署自体ニ於テ  
 又上ハ件趣旨ニ基キ極力制限スルト共ニ他面市町村及  
 商工会議所新聞社及交通関係方面等ト緊密

ナル連絡ヲ採リ本件趣旨ノ周知徹底方御取計

相成度

此段依命及通牒候也

迄而本件ハ重慶政府又ハ援將第三國家ノ逆宣

傳ニ利用サルル虞ニ多ク分ニ有之ト思料セラレルニ付

テハ之ガ発表ニ特ニ慎重ヲ期シ書面ノ場合ハ別

添外務省発表ノ範圍ニ止ノラレ度 又口頭傳

場合ト雖モ可成具体的ナル計數ニ能レサル様  
御配意相煩度

係付書類

一五五七 警備局外務甲第三一号

海支邦人暫定處理ノ関スル件

一五五七 因議決定事項

經過 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~ 月 日 ~

第三一九號 三月廿四日 午前 時受 三月廿四日 午前 時行 寫淨 合校

昭和十六年三月十八日起案

完結 冊第 號

警察部長

外事課長

部長 名

各部課長 宛

海支計劃樹立ニ際シ事前連絡方ノ件

海支邦人ノ制限問題ニ関シテハ 昭和十五年五月十日

附分親第五一七號ノ 海支邦人暫定處理ニ関スル

件ノ以テ各課辭並ニ市町村長 高之會議所  
新聞紙 交通關係方面ニ對シテ周知徹底方各部  
長官依命通牒ニ置及キタル也 其後各課ニ於ケル  
後支ノ取扱状況ヲ見ルニ事前ニ主務課(分事務課)  
ニ合議スルコトナシ支々 独自ノ見解ニ於テ計劃ヲ樹  
立シ内部約手續ヲ完了シタル後 後支證明書ノ意  
給方申越セシ事例甚クラス

由來後支制限ノ本旨トスル事ノ專ラ現地ニ於ケル  
經濟問題ニ基固ニ即チ昭和十四年中ニ於ケル  
後支者ノ權限ノ事 邦債ノ實ニ一億九千九百九十九  
之ニ於テ縮小ノ象示通債ノ價値維持上絶対ニ必要  
欠クベカラハレ問題トシテ 本年ノ五月七日閣議ニ取リ上げ  
ラレ後支制限方針ヲ確定シタル次第ニシテ 爾來  
一ノ年ヲ経過シタル今日ニ於テモ現地ノ情勢ハ依

外 緩和ヲシテノミナラス、強化ノ必要ニ迫ラレシムル  
 終シトテ、支那ノ航ハ特別ノ事由ノ存シザレバ、假令  
 必公吏ト雖モ、相出ル難ク、實情、有之、從テテ事  
 後ニ於ケル連絡ニテハ、種々期待ニ副ハザル場合ニ其  
 ナカラス、依テ今後ハ可成事前ニ於テ十分ニ連絡トナ  
 絡帳期、上可成計劃ヲ樹立セラルル様ニ改メられ  
 右又依テ通牒候也

日本標準規格B列5號

外秘第三一九號

昭和十六年三月二十四日

各部課長殿



警 察 部 長

渡支計劃樹立ニ際シ事前連絡方ノ件

渡支邦人ノ制限問題ニ關シテハ昭和十五年五月十日附外親第五一七號  
 「渡支邦人暫定處理ニ關スル件」ヲ以テ各課麻並ニ市町村長、商工會  
 議所、新聞社、交通關係方面ニ對シ周知徹底方各部長宛依命通牒ニ置  
 及キタル處其後各課ニ於ケル渡支ノ取扱狀況ヲ見ルニ事前ニ主務課（  
 外事課）ニ合議スルコトナク夫々獨自ノ見解ニ於テ計劃ヲ樹立シ内部  
 的手續ヲ完了シタル後渡支證明書ノ發給方申越セル事例尠ナカラス  
 由來渡支制限ノ本旨トスル所ハ專ラ現地ニ於ケル經濟問題ニ基~~因~~シ即

予昭和十四年中ニ於ケル渡支者ノ携行スル邦貨ハ實ニ一億圓ノ巨額ニ  
 達シ之レガ壓縮ハ圓系通貨ノ價值維持上絕對ニ緊要缺クベカラザル間  
 題トシテ客年五月七日閣議ニ取り上ゲラレ渡支制限方針ヲ確立シタル  
 次第ニシテ爾來一ケ年ヲ經過シタル今日ニ於テモ現地ノ情勢ハ依然緩  
 和サレザルノミナラズ却テ益々強化ノ必要ニ迫ラレツ、アル際トテ支  
 那渡航ハ特別ノ事由ノ存ゼサル限り假令官公吏ト雖モ相當至難ノ實狀  
 ニ有之從ツテ事後ニ於ケル連絡ニテハ種々期待ニ副ハザル場合モ尠ナ  
 カラズ、依而今後ハ可成事前ニ於テ十分主務課ト連絡協調ノ上可然計  
 劃ヲ樹立セララルル様致サレ度  
 右及 通 牒 候 也

(了)

渡支計劃樹立ニ際シ事前連絡方ノ件

遊	警	情	特	勞	保	交	刑	消	健	健	衛	監
務	報	高	政	安	通	事	防	康	策	生	察	
課	課	課	課	課	課	課	課	課	課	課	課	
受印												
遊	經	警	統	耕	商	商	人	秘	知	地	會	
務	濟	防	計	地	五	五	事	書	事	方	計	
課	保	課	課	課	第	第	課	課	官	課	課	
受印												
遊	營	農	價	產	學	社	社	社	總	體	職	振
務	繕	務	格	業	務	會	寺	會	動	力	業	興
課	課	課	統	組	課	教	兵	課	員	課	課	課
受印												
遊	河	道	都	總	總	經	住	食	警			
務	港	路	市	務	務	濟	宅	糧	察			
課	課	課	計	課	課	總	課	課	部			
受印									長			

裏面白紙

11

米三普通合第一五八八號

昭和十六年四月二十八日

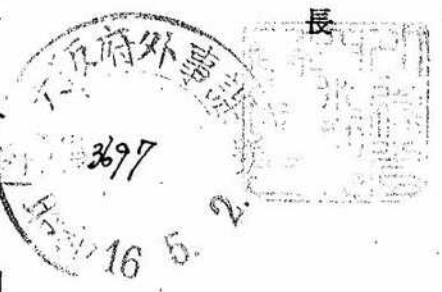
大阪府知事 殿

外務省亞米利加局長

福州方面へ渡航制限方ニ關スル件

福州及同方面へノ渡航ハ公用者及軍關係者ヲ除クノ外當分ノ間之  
 ヲ禁止スル旨軍側ヨリ通知アリタル趣在支帝國大使ヨリ來電アリ  
 タルニ付右様御了知ノヒ可然御取計相成度此段申進ス

本信送付先 審視總監、各地方長官、關東州廳長官  
 本信寫送付先 拓務次官、內務省醫保局長



外務省

裏面白紙

外務省

警保局外發甲第五九號

昭和十六年七月十六日

内務省 警保局長

警視總監殿  
各廳府縣長官殿  
(除東京府)

新作戰地並新開發地向渡支者ニ對スル  
渡支事由證明書ニ關スル件



標記ノ件ニ關シ大阪府知事ヨリ別紙寫ノ通リ稟備有之タルニ付外務  
省ト協議ノ結果新作戰地並新開發地向渡支者ニ對シテハ原則トシテ  
所轄領事館警察署發給ノ渡支事由證明書ヲ取付シメ領事館警察署ノ



開設ナク又ハ其ノ管轄不詳若クハ交通上ノ不便等ノ理由ニ依リ直接所轄領事館警察署ニ手續困難ナル場合ニ於テハ其ノ地憲兵隊ノ證明書添附ノ上最寄領事館警察署ヨリ渡支事由證明書ヲ取付ケシムルコトト相成タルニ付取締上遺憾ナキヲ期セラレ度

追而大阪府ニ於テハ本通牒ヲ以テ六月十日附外秘第六九一號稟伺ニ對スル回答ト了承相成度

外秘第六九一號

昭和十六年六月十日

大阪府知事 三邊 長治

内務大臣 平沼 騏一郎殿

現地憲兵隊發給ノ渡支事由證明書ニ關スル件

一般人ノ渡支ニ關シテハ昨年五月七日付警保局外發甲第三一號「渡支邦人暫定處理ニ關スル件」ニ基キ現地領事館警察署長ノ渡支事由證明書ヲ要スルコトナリ層ルガ最近山西省河南省等ノ新作戰地或ハ新開發地等ニ渡支セントスル者激増セル處現地ニハ領事館警察署ノ開設ナク或ハ其ノ管轄不詳若クハ交通不便ニシテ之ガ取得困難ナル爲メ實際ニ現地警察行政ヲ擔當スル憲兵隊ニ、或ハ警備隊等ニ願出テ渡支事由證明書ヲ取得シ之ニ依リ渡支ヲ願出ツルモノ相當多數アリ、當方トシ

テハ管轄領事館警察署ヨリ正規ノ證明書受有スベキモノトシテ之ガ指  
示ヲ爲シ居ル處ナルガ最近之ニ關シ現地憲兵隊ヨリ別紙寫ノ如ク現地  
憲兵隊發給ノ證明書ヲ認メタレタシトノ申入レアリタルガ其ノ内容一  
應肯定シ得ルモ現地ヨリ歸來者ノ言ニ依レバ憲兵隊並ニ警備隊等ノ隊  
長ハ下級將校並ニ下士官等ニシテ閣議決定事項タル一渡支邦人暫定處  
理ニ關スル件ニテ知悉セズ單純ナル思想ニ依リ發給シ居ル等ノ趣ナル  
ヲ以テ之ヲ認ムルハ相當難色モアル如ク思料セラル、狀態ナルガ將來  
モ相當此種事象發生シ、渡支者並ニ居住民ヲ困惑セシムル虞アルヲ以  
テ何等カノ對策考究相成度  
右及申報候也

號外

渡支證明書ニ關スル件

昭和十六年五月二十七日

日本憲兵隊太谷隊

大阪朝日橋警察署御中

先 般

左記ニ居住シアル者ノ證明書ヲ發給シタルガ貴署ニ於テハ當地領事  
館警察署ノ證明書云々トノ具備有之由ナルモ山西省ノ如キ地域ハ領  
事館少ク殆ンド憲兵隊ニ於テ行政ヲ執行シアル現況ニシテ當地區モ  
又同様ナルニ付當憲兵隊ニ於テ本名ノ渡支ヲ證明シタルニ依リ之ガ  
渡支ハ差支ナキモノト思料候條何卒宜敷御願申上候

左 記

本 籍 香川縣香川郡弦打村大字郷東四六  
現住所 山西省太谷縣城內東斜街五號

運轉手

橋本

高橋

ノ

妻橋

本

小

Handwritten notes and markings on the left side of the page, including a circular diagram and various characters.

經過 月 日 ~ 月 日

第六九 號 六月 廿 日 午前 午後 時受 六月 廿 日 午前 午後 時行 寫淨 合校 號

昭和十六年六月六日起案



知事 名

初發大臣宛

現地震災院費給、浪支事由認、  
二送スル件

一般人ノ浪支ニ關シ、昨年五月七日付道一保局外費

甲第三一號ノ浪支部人暫定処理ニ關スル件

二其七、現地領事館並に察界長、後支事由証明  
 書ヲ受ケルアトナリテ居ルガ最近、山西、河南等  
 ノ新作、或ハ新開地等ニ後支セントスル者  
 漸増セルハ、現地ニ領事館並に察界ノ開設ナク  
 或ハ其ノ後支不詳若クハ  
 或ハ交通不便ニシテ之ガ取得困難ナルタメ、實際ニ現  
 地並に察界ノ設ケヲ提ケテ居ル者、或ハ領事館並に後支事  
 由証明書ヲ取得シ之ニ依リ後支ヲ願出スルモノ相續シ

多數アリ、當方トシテハ、蒙疆領事館並に察界アリ正  
 規ノ証明書受有スルモノトシテ之ガ指シテ居ル  
 処ナリカ、最近之ニ關シ現地並に察界ノ別紙寫シ  
 加シ現地並に察界長終ノ認領書ヲ認メラレタリト申入  
 レアリタルガ、其ノ内容ニ應ニ肯定シ得ルモ現地歸來者  
 ノ言ニ依リシハ、並に察界長ニ並ニ備隊等ノ隊長ハ下級  
 將校並ニ下士官等ニシテ、協議決定事項タルハ、後支

邦人指定処理ニ關スル件ノヲ知悉セズ單純ナル  
 思想ニ依リ最終ニ居ルマノ趣ナルヲ以テ之ヲ認ムル  
 ハ相劣難色ニアル如ク思料セラレル状態ナ  
 ルが將來ニ相劣氏種事象發生シ得候之有ラシク居  
 住民ヲ因感セシムル迄戻レアルヲ以テ何等カノ對策考  
 究相成度  
 右及申報候也

辨分

後支証明書ニ關スル件

昭和十五年五月二十七日

日本憲兵隊大谷隊

大段朝日格選言察署中

先般

左記ニ居住シアル者ノ記帳書ヲ發行シタルカ其間ニ  
 於テハ前地領事館選言察署ノ記帳書ニ付トノ異儀  
 有之由ナルモ山西有ノ如ク地域ハ領事館少ナリ殆ト  
 憲兵隊ニ於テハ執行シタル現況ニシテ前地  
 又ハ今様ナルニ付領事館ニ於テ本署ノ後支ヲ  
 記帳シタルニ依リ之が後支ハ後支ナキモト思料候事  
 何卒宣敷仰願申上

左記

本籍 香川物産部 弦打村 字 郷東 四六

現住所

山西省太谷城内东斜街五號

運轉手

楊中奇義

妻 楊中奇 子 少子



號外

渡支証明書ニ関スル件

昭和十六年五月二十七日

日本郵船株式會社 大谷

大阪朝日橋警署署中

先般

左記ニ居住シタル者、証明書ヲ發行シタルカ、貴署ニ於テハ、当地領事館警署、署、証明書云々、以下、異儀有之由ナルモ、山西者、如キ地、威ハ領事館方ヤク、殆ント、憲兵隊ニ於テ、行政ヲ執行シタル現況ニシテ、当地区モ、又、今様ナルニ付、爲憲兵隊ニ於テ、本名、渡支ヲ証明シタルニ依リ、之カ、渡支ハ、差支ナキモノト、思料候條、何卒、宣敷御願申上ル。

左記

本籍 香川縣 香川郡 弦打村 大字 郷東四六  
 現住 山田郡 大谷城内 東斜街 五號  
 妻 橋本 高美  
 子 橋本 高美



經過 月 日 ~ 月 日  
 第八九九號 七月廿二日午 時受 七月廿二日午 時行  
 昭和三十九年七月廿二日起 案 後前 後前 淨  
 完結 冊編 第 號  
 部 長 名



管下各警察署長宛

新作戦地並新用發地向渡支者=  
 對スル渡支事由證明書=因スル件

最近山西省河南省等ノ新作戦地或ハ新用發地

ハ一般渡航者ニシテ領事館警察署ノ開設ナク

或ハ其ノ管轄不詳若ハ交通不便ニシテ渡支事由證  
明書取得<sup>困難</sup>ナリト称シ現地憲兵隊長ノ發給セル渡  
支事由證明書ニ依リ渡支輸出願スル者相当多数  
アリ之ガ取扱ヒニ関シ稟伺ノ結果今般警保局  
長ヨリ別紙<sup>傳</sup>ハ通り回答アリタルニ依<sup>付</sup>キ  
取締上  
萬遺漏ナキヲ期セララルベシ

外秘第八九九號

昭和十六年七月二十二日

大阪府警察部長

直下各警察署長 殿

新作戦地並新開發地向渡支者ニ  
對スル渡支事由證明書ニ関スル件

最近山西省河南省等ノ新作戦地或ハ新開發地ヘノ一般  
渡航者ニシテ領事館警察署ノ開設ナク或ハ其ノ管轄不詳  
若ハ交通不便ニシテ渡支事由證明書取得困難ナリト稱シ

現世憲兵隊長ノ発給セル渡支事由證明書ニ依リ渡支出  
費ナル者相当多数アリ之ガ取扱ヒニ関シ稟伺ノ結果今般  
警保局長ヨリ別紙寫シ通リ回答アリタルニ付取締上萬遺  
漏キキ期セラルベシ

警保局外発甲第五九號

昭和十六年七月十六日

寫

内務省警保局長

警視總監殿

各廳府縣長官殿

(除東京府)

新作戦地並新開発地向渡支者ニ  
對スル渡支事由證明書ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ大阪府知事ヨリ稟伺有之タルニ付外務省下協議ノ  
結果新作戦地並新開発地向渡支者ニ對シテハ原則トシテ所轄  
領事館警察署発給ノ渡支事由證明書ヲ取付シメ領事館警察  
署ノ開談ナク又ハ其ノ管轄不詳若ハ交通上不便等ノ理由ニ依リ直

接所轄領事館警察署ニ手續困難ナル場合ニ於テハ其ノ地憲兵隊ノ  
證明書添附ノ上最寄領事館警察署ヨリ渡支事由證明書ヲ取  
付ケシムルコトト相成タルニ付取締上遺漏ナキヲ期セラレ度  
追而大阪府ニ於テハ本通牒ヲ以テ六月十日附外秘第六九一號稟  
伺ニ對スル回答ト了承相成度

13

支司第三〇五號

昭和十七年十二月十二日

支那事務局 長 岡

知 事 殿

支那ニ赴任セシムベキ學校職員ノ渡支證明書

發給ニ關スル件

支那ニ於ケル在外指定學校教員トシテ赴任セシムベキ學校職員ニ關シ  
 テハ昭和十六年四月四日閣議決定ニ依リ當省ト文部省ト協議ノ上當省  
 ヨリ貴廳ニ交渉シ貴官ノ出向命令發令ニ基キ赴任セシメツツアル處從  
 來右教員ノ渡支手續ニ關シ一般渡航者ト同様所轄警察署長ヨリ渡支身  
 分證明書ヲ發給スルノ取扱ヲ爲シツツアリシタメ一部警察署ニ於テハ  
 當省ヨリノ證明ヲ經ルニ非ザレバ之ヲ交付セザル向有之右ハ當ニ事務



教學、外事

